

ネットワーク接続上の注意事項

2026年4月1日

- **パケットMTUサイズの上限**

L2接続サービスにおける最大MTU値は 9000バイト（ジャンボフレーム対応）です。一部区間（関東-2 APと関東-5 APの間）は、2026年4月現在、8968バイトとなっておりますが、近日中に修正予定です。

- **ネットワークループ構成の禁止**

ループ検知機能・ブロック機能が動作しています。利用者に割り当てられた複数VLAN間を直接接続（ブリッジ等）することは避けてください。ループ検知機能が働き、当該ポートがブロックされます。

スパンニングツリープロトコル（STP）は利用不可です。利用者機器側ではOFFとしてください。

- **通信帯域の制限**

回線を占有するような大容量通信実験を実施されたい場合は事前にご相談ください。

- **運用・セキュリティ対策の実施**

L2接続サービスを利用する際、インターネットに接続することは避けてください。実験上、インターネット接続が必要な場合は事前にご相談ください。

L3接続サービス（インターネット接続）では、基本的なファイアウォールを提供していますが、利用者側で十分なセキュリティ対策を行なってください。

- **機器責任分界点の設置**

NICTのデータセンター内のアクセスラックに設置されている、外部接続用パッチパネルの裏面が責任分界点となります。回線終端装置と外部接続用パッチパネル表面間の配線は利用者側の責任範囲です。なお、利用者機器や回線の使用については、事前に申請が必要です。

（本件に対する問い合わせ先）

国立研究開発法人情報通信研究機構 テストベッド研究開発推進センター

<テストベッド事務局>

電話： 042-327-6024（直通） 電子メール： tb-info@ml.nict.go.jp